

「すべての原発を廃炉にしよう！」シリーズ 8

がれき広域処理のうそ

東京スカイツリー開業の華やかなニュースが大々的になされるなか、新聞の片隅に「北九州市がれき搬入反対派一時阻止」という記事があった。震災がれきは早急に処分しなければならない。しかし石巻市のがれきを何故？北九州まで持って行く必要があるのか？輸送コストを考えれば疑問だらけである。また運ばれたがれきの放射性物質を測定するために一般ゴミを90%も混ぜたうえで焼却したという？つまり薄めて測定？

一体その背後には何があるのでしょうか？

被災地の復興は置き去り…新聞広告に数千万？

政府はがれき処理に約7000億円の予算を計上している。本来ならそのお金は全て被災地でのがれき処理に使われ、地元の雇用と復興に使われるのなら納得出来る話である。しかし岩手県陸前高田市の戸羽市長は、市内にがれき処理専門のプラントを作り、何倍ものスピードで処理する計画を県に相談したところ、現行法には煩雑な手続きがあり、許可が出ても建設まで二年かかるという理由で、門前払いされたと言っている。

また岩手県岩水町の伊達町長は、「現場からは納得できないことが多々ある。がれき処理もそうだ。あと2年で片付けるという政府の公約が危ぶまれているというが、無理して早く片付けなくてはいけないのだろうか。山にしておいて10年、20年かけて片付けた方が地元で金が落ち、雇用も発生する。もともと使っていない土地がいっぱいあり、処理されなくても困らないのに、税金を青天井に使って全国に運び出す必要がどこにあるのか。」と語っている。

政府はこうした被災地元の声を無視して『みんなの力でがれき処理』なる新聞広告に数千万円の税金を使い広域処理を推し進めている。

放射線物質を全国に拡散させる！『利権集団』を許すな！

そこにあるのは災害復興に群がる利権だ。

真っ先のがれき受け入れを表明した島田市の桜井市長は、2001年に市長に当選するまで、産廃事業者である桜井資源株式会社社長を務めており、現在はその親族が経営している。

また東京都のがれき処理を請け負っているのは、東京臨海リサイクルパワーという東電の子会社だ。そしてこうした政策を推し進めている民主党の仙石由人、枝野幸夫は東電が献金を受け続けている。

ちなみに阪神淡路大震災時のがれき処理の単価が1トンあたり22,000円だったのに対し、岩手のがれきは63,000円、宮城のがれきは50,000円という。また宮古地区広域行政組合の処理単価が1トン当たり16,300円なのに対し、財団法人東京都環境整備公社の広域処理単価（運搬費含む）は1トン当たり59,000円となっている。（広域処理引受量162万トンで差額を算出すると、約700億円となる。）

がれき広域処理は、助け合いでも絆でもないただの利権目当てなのか？

放射線物質を日本全土に拡散させてはならない！

しかしこうしたなか徳島県は瓦礫の広域処理を拒否している。

それは国が出している『がれき1kgあたりの放射線量を8,000ベクレルまでは全国において埋立処分できる』という見解に問題があるからだ。放射性物質は“封じ込め、拡散させない”ことが原則であり、その観点から、東日本大震災前は、IAEAの国際的な基準に基づき、放射性セシウム濃度が1kgあたり100ベクレルを超える場合は、特別な管理下に置かれ、低レベル放射性廃棄物処分場に封じ込めてきた。（クリアランス制度）

ところが、国においては、東日本大震災後、当初、福島県内限定の基準として出された8,000ベクレル（従来の基準の80倍）を、その十分な説明も根拠の明示もないまま広域処理の基準にも転用した。

（したがって、現在、原子力発電所の事業所内から出た廃棄物は、100ベクレルを超えれば、低レベル放射性廃棄物処分場で厳格に管理されているのに、事業所の外では、8,000ベクレルまで、東京都をはじめとする東日本では埋立処分されている。）

この8,000ベクレルという水準は国際的には低レベル放射性廃棄物として、厳格に管理されている。例えばフランスやドイツでは、低レベル放射性廃棄物処分場は、国内に1カ所だけであり、しかも鉱山の跡地など、放射性セシウム等が水に溶出して外部にでないように、地下水と接触しないように、注意深く保管されている。

またがれきの測定はあくまでサンプル測定であり、汚染されているがれきをより分けることは不可能。しかも、毒性の高いプルトニウムやストロンチウムなどは、測定さえされていない。

7月16日「さよなら原発10万人集会」に参加しよう！

脱原発・持続可能で平和な社会をめざして

集まろう
10万人!

さよなら原発10万人集会

2012 7/16 MON
(祝の日)

代々木公園 イベント広場・クヤキ並木・サッカー場

さよなら原発1000アクション http://sayonara-nukes.org

迫り来る大地震が、原発を制御不能の原爆に転化する恐怖が現実になります。しかし政府は、電力会社や財界の要求に応じて、やみくもに再稼動を認めようとしています。いのちと健康を犠牲にする経済などありえません。

人間のための経済なのです。利権まみれの原発はもうたくさんです。反省なき非倫理、無責任、無方針、決断なき政治にたいして、もう一度力強く、原発いやだ、の声を集めましょう！

（呼びかけ人） 内橋克人・大江健三郎・落合恵子・鎌田慧・坂本龍一・澤地久枝・瀬戸内寂聴・辻井喬・鶴見俊輔